


政務調査研究視察 報告書

平成19年 7月 23日提出

視 察 日	平成19年 7月 17日 (火)
視 察 先	金沢市
視 察 内 容	まちなか活性化・まちなか定住促進事業について
視 察 者	野村康治 稲垣良美 計 2名
金 沢 市	<p><まちなか活性化・まちなか定住促進事業について></p> <p>金沢市の概要</p> <p>人口 455,325人 面積 467.77km² 世帯数 184,869世帯</p> <p>事業概要</p> <p>第一次基本計画 平成10年～15年 にぎわいと伝統が調和した活力のある中心市街地の形成</p> <p>第二次基本計画 平成16年～20年 まちなかの定住と交流の促進</p> <p>中心市街地の現状分析</p> <ul style="list-style-type: none"> 金沢市全体で平成17年に減少に転じたが中心市街地は減少傾向は続くも減少率が穏やかになってきた、中心市街地の世帯人数は2.2人となっており金沢全体の2.5人と比較し小規模な世帯が多い 高齢化率は金沢全体で18.8%と高齢社会を迎えているのに対し中心市街地は28.2%と超高齢化社会となっている。 金沢市の小売業店舗数売上高は減少しているが、中心市街地の減少率は近年緩やかになってきている 中心市街地における飲食業・サービス業の店舗数は金沢市全体の55.3%とでここに集中している。 中心市街地主要商店街では歩行者・自転車通行量が増加している。 JR各駅の乗降客数は年々減少している。 平成10年から運行開始したコミュニティーバスは平成17年から減少に転じたが材木ルートは増加傾向にある。 <p>中心市街地活性化の目標</p> <p>1. 誰もが暮らしやすい中心市街地 【中心市街地の人口の年間社会動態をプラスに】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況値:年平均-462人 目標値:プラスに <p>2. にぎわいと交流が生まれる中心市街地 【主要商業地休日の歩行者通行量の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況値:73,292人 目標値:80,000人 <p>【JR金沢駅の乗車人員の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況値:3,680,000人 目標値:4,000,000人 <p>3. 過度に自動車に依存しない中心市街地 【金沢ふらっとバスの乗車人数の増加】</p> <ul style="list-style-type: none"> 現況値:708,478人 目標値:750,000人 <p>中心市街地活性化のための各種事業</p> <ul style="list-style-type: none"> 土地区画整理事業、市街地開発事業、道路、公園、駐車場等の公共の用に供する施設の整備その他の市街地の整備改善事業 <ul style="list-style-type: none"> * 伝統的建造物群保存地区保存対策調査事業費補助 * まちなか彫刻・国際コンペション開催費 * 金沢駅武蔵北地区第一種市街地再開発事業第三・四工区 * 大手門中通り整備事業 都市福利施設を整備する事業 <ul style="list-style-type: none"> * 玉川子ども図書館(仮称) 整備事業 * 金沢福祉用具情報プラザ運営事業
	 <p>▲金沢市役所内にて</p>

- * つどいの広場事業金沢駅子どもらんど事業
 - ・ 公営住宅等を整備する事業、中心市街地共同住宅供給事業その他住宅の供給事業、及び当該事業と一体として行う居住環境向上のための事業
 - * 旧町名復活事業
 - * **まちなか定住促進事業**
 - まちなか住宅建設奨励金**

自己が居住する戸建て住宅を、住宅ローンにて新築・購入する場合に助成
奨励金額 借入金の10% 限度額200万円(2世帯の場合300万円)
駐車場活用の場合 借入金の1.5%上乗せ(限度額30万円)
40歳未満の場合 仮いえ金の2.5%上乗せ(限度額50万円)
 - まちなかマンション購入奨励金**

自己が居住する新築分譲マンションを、住宅ローンにて購入する場合に助成
奨励金額 借入金の5% 限度額100万円(あらかじめ認定を受けたマンション)
 - まちなか住宅リフレッシュ支援事業**

昭和20年以前の木造住宅で改築工事費が100万円以上の場合助成
助成金額は工事費の1/2 限度額100万円
 - まちなか共同住宅建築費補助**

景観に配慮したファミリー向けの賃貸共同住宅の新築及び住宅共同建替補助
補助金一戸あたり工事費の1/10以内 100万円
併設店舗1㎡あたり1万円を加算
駐車場等活用の場合 50㎡当たり10万円加算(限度額100万円)
 - まちなか住宅団地整備費補助**

面積が500㎡以上の良質な開発行為に補助 対象工事補の1/2
 - まちなか住まい共同計画作成支援費**

隣り合った宅地をあわせての住宅共同建て替えや、コーポラティブハウスの建築計画支援 実施設計費の1/2 (限度額100万円)
 - * 金沢まちづくり市民研究機構運営事業
 - ・ 中小小売商業高度化事業、特定商業施設事業その他商業活性化のための事業
 - * 金沢百万石まつり開催事業
 - * 金沢ほんものにふれる旅開催事業
 - * 近江町市場「市民の台所」活性化事業
 - ・ 前記に掲げる事業及び措置と一体的に推進する事業
 - * 歩けるまちづくり推進事業
 - * 金沢ふらっとバス運行事業
 - * ITビジネスプラザ武蔵運行事業
- 金沢市中心市街地活性化規範計画**
平成19年3月30日 国に認定申請
平成19年5月28日 国から認定

〔感想・岡崎市への反映〕

金沢市は戦災を免れたため江戸時代からの城下町の狭隘道路の街並みが現在も続いているが、その街並みを生かしながらまちづくりをしようというものである。

本市にも福受町のように戦火を免れた地区があるが金沢と同じように狭隘道路で成り立つ城下町そのものである。

そのままの街並みで開発するにはあまりにも道路が狭すぎるので、金沢市と本市は若干考え方は違うと思われる。

金沢市のすごいところはこうしたまちなかの景観を損なわないよう配慮しながら住宅の建て替えやリフレッシュ工事には奨励金を出して促進しているところであろう、促進事業でまちなかにおける住宅建築等では細部にわたる奨励金や補助金制度を作り上げている。

こういった制度はまちなかに限らず金沢住まいのすすめ(住宅支援制度)でしっかりと取り決めをしている、こういうところは本市も絶対に見習わなくてはならない。

黙っていても家が建ってくる本市では考えつかないような細かな制度こそ今後ますます岡崎に住んでよかった、岡崎に住みたいという若者が増えるはずである。



▲ プロジェクターで説明